

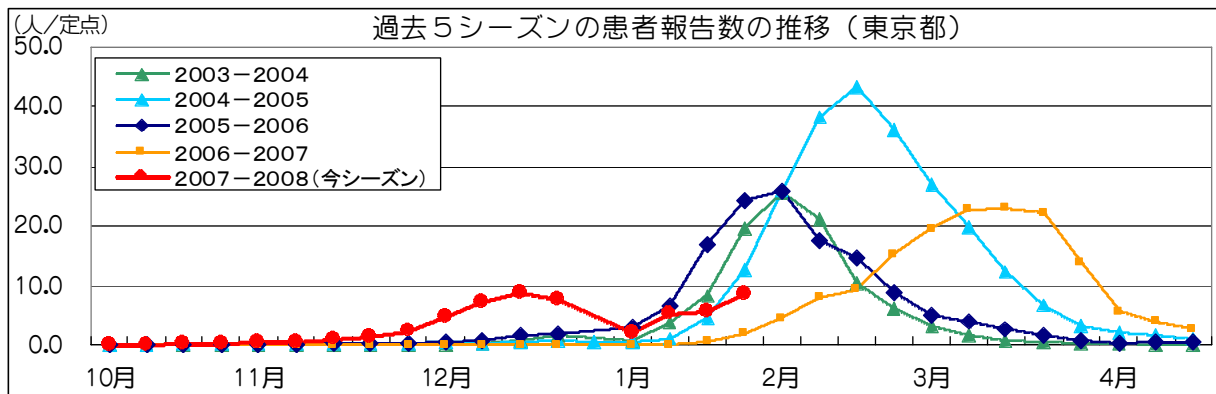
東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

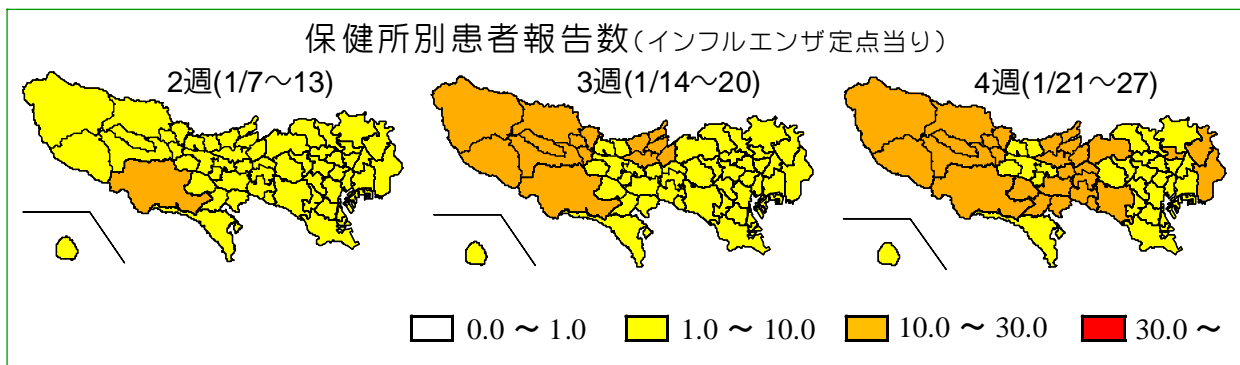
今号(第11号)のトピックス

- 第4週(1月21日から27日)のインフルエンザ患者報告数は 2,469人、定点当たり 8.60人 (去年同期 定点当たり 1.80人)
- 9区15市2町で学級閉鎖:新宿、文京、台東、江東、世田谷、杉並、板橋、練馬、葛飾、八王子、三鷹、青梅、府中、調布、小金井、小平、日野、東村山、国立、福生、清瀬、東久留米、武蔵村山、西東京、瑞穂、日の出
- 3県でインフルエンザ定点当たりの患者報告数が30人を超える
- 東京都の流行規模は、全国で42位
- 今季検出されたAH1亜型、AH3亜型及びB型ウイルスの遺伝子系統樹

流行状況



2004-2005シーズンに限り53週があります。



1 患者発生状況

インフルエンザ定点*からの第4週(1月21日から27日)の患者報告数は東京都で 2,469人、定点当たり 8.60人です(去年同期 定点当たり 1.80人)。インフルエンザ定点当たりの報告数は今週も増加し、2007年12月の小ピークと同レベルとなりました。今後の推移に注意が必要です。

全国の患者報告数は 72,994人、定点当たり 15.27人です。全国の定点当たり患者報告数は、先週の約1.5倍になっています。

*:インフルエンザ定点

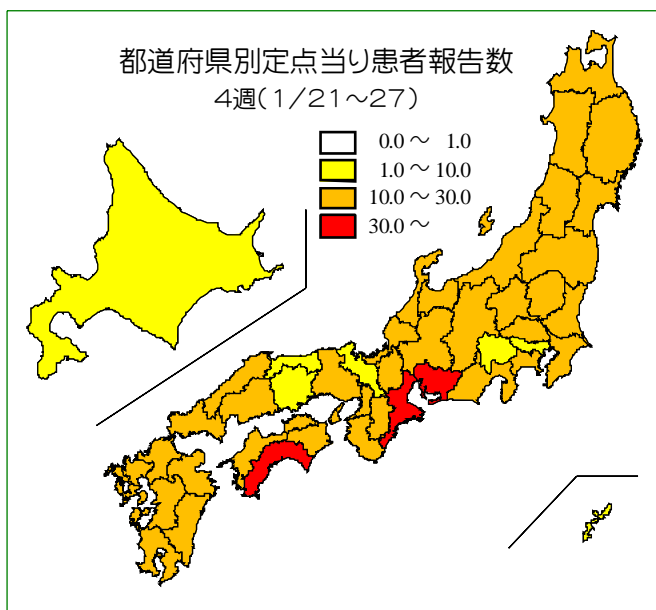
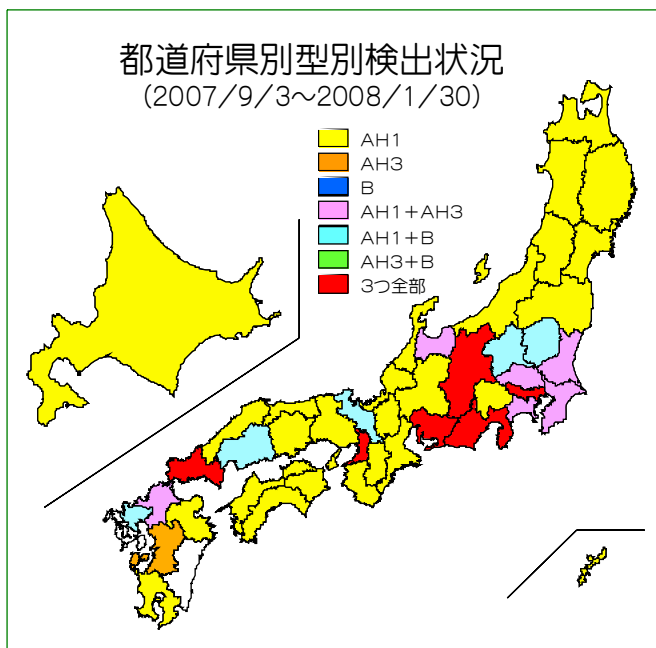
インフルエンザの流行状況を把握するために、東京都では小児科定点150か所を含む290か所(全国約5,000か所)の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています。

表1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス		
			AH1	AH3	B
36-51週 (9/3-12/23)	366	60	59	0	1
52週 (12/24-30)	25	8	8	0	0
1週 (12/31-1/6)	7	0	0	0	0
2週 (1/7-13)	61	26	25	1	0
3週 (1/14-20)	31	13	13	0	0
4週 (1/21-27)	28	11	10	1	0
合計			115	2	1

表2. 学校での集団発生として搬入された検体の検査結果

搬入日	管轄保健所	集団種別	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス		
					AH1	AH3	B
12月末まで	24か所	幼稚園 小学校	92	90	90	0	0
1月17日	島しょ	中学校	5	5	5	0	0
1月18日	島しょ	中学校	4	4	4	0	0



2 都内学校の学級閉鎖状況

1月20日から26日に、新宿、文京、台東、江東、世田谷、杉並、板橋、練馬、葛飾、八王子、三鷹、青梅、府中、調布、小金井、小平、日野、東村山、国立、福生、清瀬、東久留米、武蔵村山、西東京、瑞穂、日の出の9区15市2町でインフルエンザ様疾患による学級閉鎖がありました。

3 東京都と全国の検査情報

(2007年9月以降)

1月27日までに、感染症発生動向調査事業により当センターに搬入された検体から、AH1亜型が115件、AH3亜型が2件、B型が1件、PCR法により検出されています。

1月31日までに集団発生(学級閉鎖等)26事例の検体が当センターに搬入され、26事例99検体からAH1亜型が、PCR法で検出されています。

国立感染症研究所発行の病原微生物検出情報(IASR)等によると、1月30日までに、44都道府県からAH1亜型、13都府県からAH3亜型、13都府県からB型が報告されています。

今回新たにAH1亜型が鳥取県から、AH3亜型が茨城と静岡の2県から、B型が高知と福岡の2県から報告されました。

4 全国の流行状況

第4週(1月21日から27日)現在、40府県が注意報発令の基準値であるインフルエンザ定点当りの患者報告数10人を超える状況にあります。三重(42.79)、高知(31.40)、愛知(31.22)の3県は、定点当たり患者報告数が30人を超えています。

東京(8.60)は全国で42番目になっています。

専門家向け情報

今シーズンに当センターで検出したインフルエンザウイルスは、1月31日の時点でA/H1亜型が214件と最多で、A/H3亜型は2件、B型は1件です。

今回、これら検出されたインフルエンザウイルスの代表株とワクチン株の遺伝子系統樹を作成しました(図1~3)。

1 A/H1亜型ウイルスの遺伝子系統樹

今シーズンに検出されたA/H1亜型ウイルスは、系統樹上で2006/2007シーズンに検出されたウイルスと同様、大きく2つのグループに分かれており、現在もこの2つのグループに属するウイルスによるインフルエンザが流行しているものと思われます。また、検出されたウイルスのHA遺伝子解析領域(アミノ酸57個)をワクチン株と比較するとグループ①の株はワクチン株と1個のアミノ酸が異なりましたが、グループ②の株は2~3個のアミノ酸が異なっていることが確認されました。

2 A/H3亜型ウイルスの遺伝子系統樹

今シーズンに検出された2件のA/H3亜型ウイルスは、2006/2007シーズンに検出されたウイルスを含むクラスターに属し、ワクチン株を含む大きなグループにも含まれていることがわかりました。また、HA遺伝子解析領域(アミノ酸104個)をワクチン株と比較すると、検出されたウイルス株は3個のアミノ酸がワクチン株と異なっていることが確認されました。

3 B型ウイルスの遺伝子系統樹

今シーズンに検出された1件のB型ウイルスは、山形系統株のウイルスであり、2004/2005シーズン以来の検出となりました。現在、都内ではB型ウイルスによる大きな流行は確認されていないものの、今(2007/2008)シーズンのB型ワクチン株がVictoria系統株であることから、今後の動向には注意が必要です。

(微生物部 ウイルス研究科)

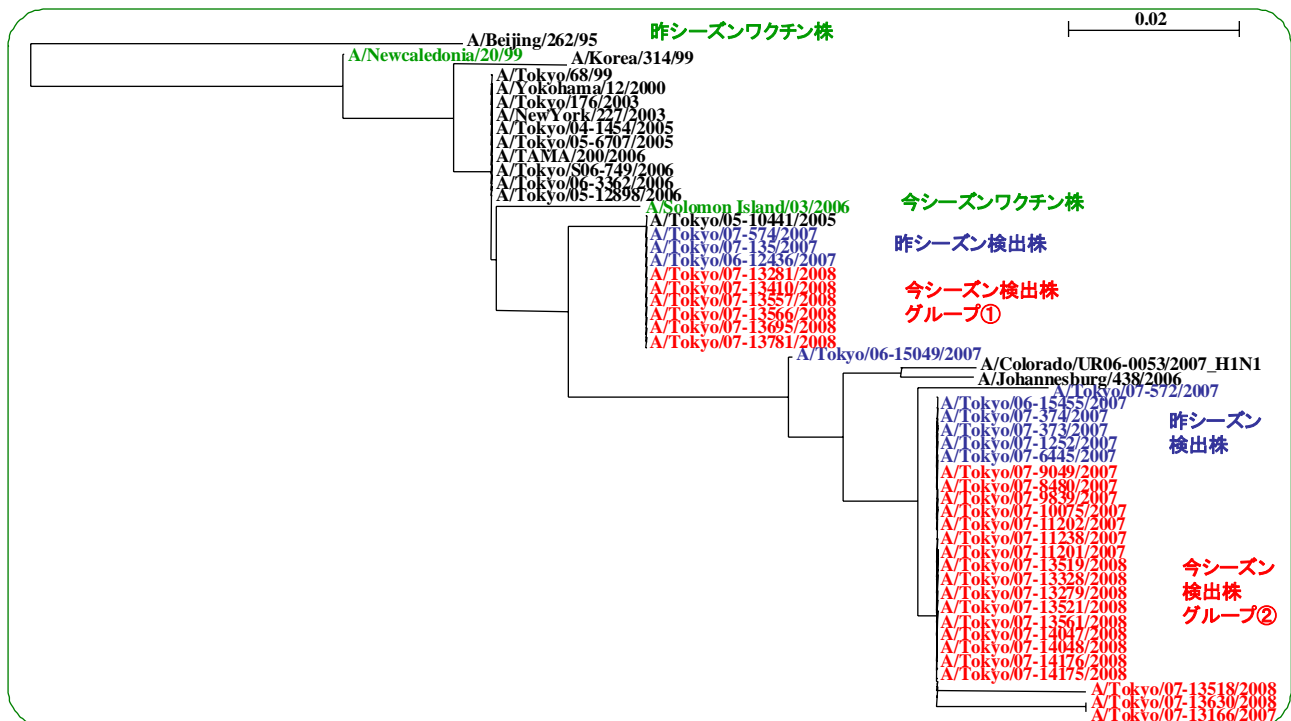


図1. 東京都におけるA/H1亜型インフルエンザウイルスのHA遺伝子系統樹

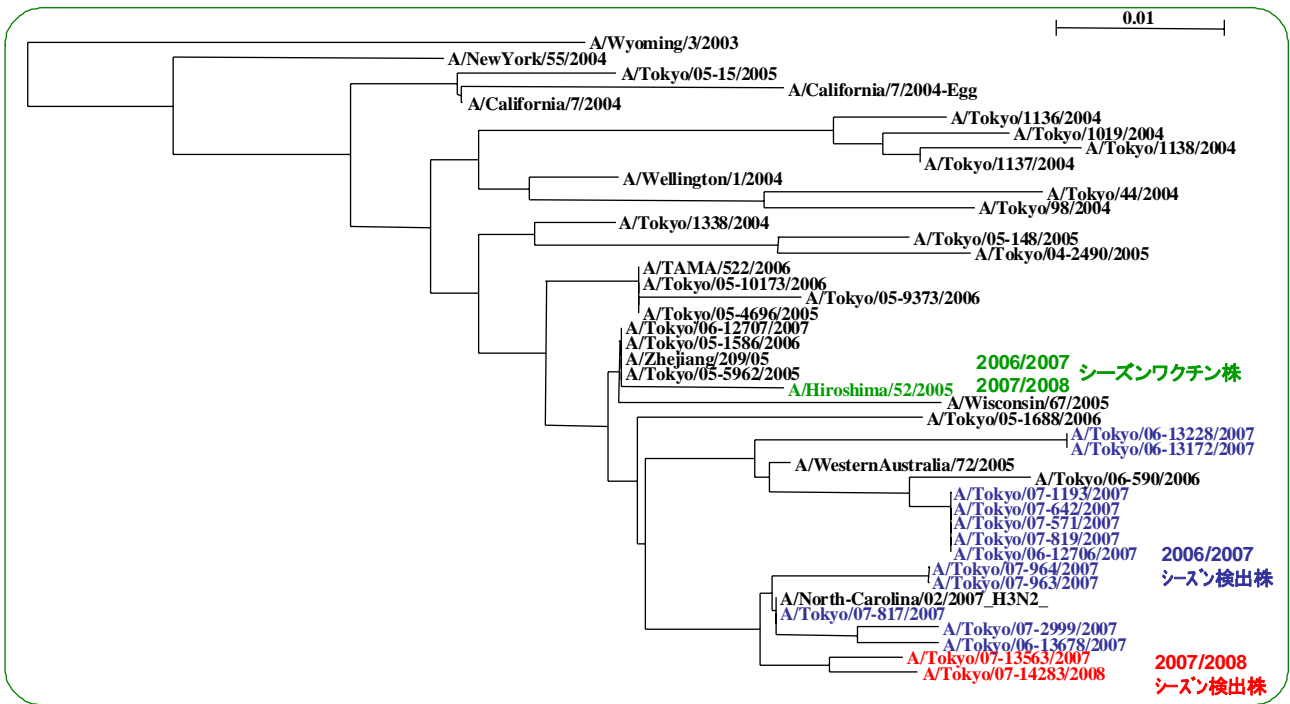


図2. 東京都におけるA H3 亜型インフルエンザウイルスのHA遺伝子系統樹

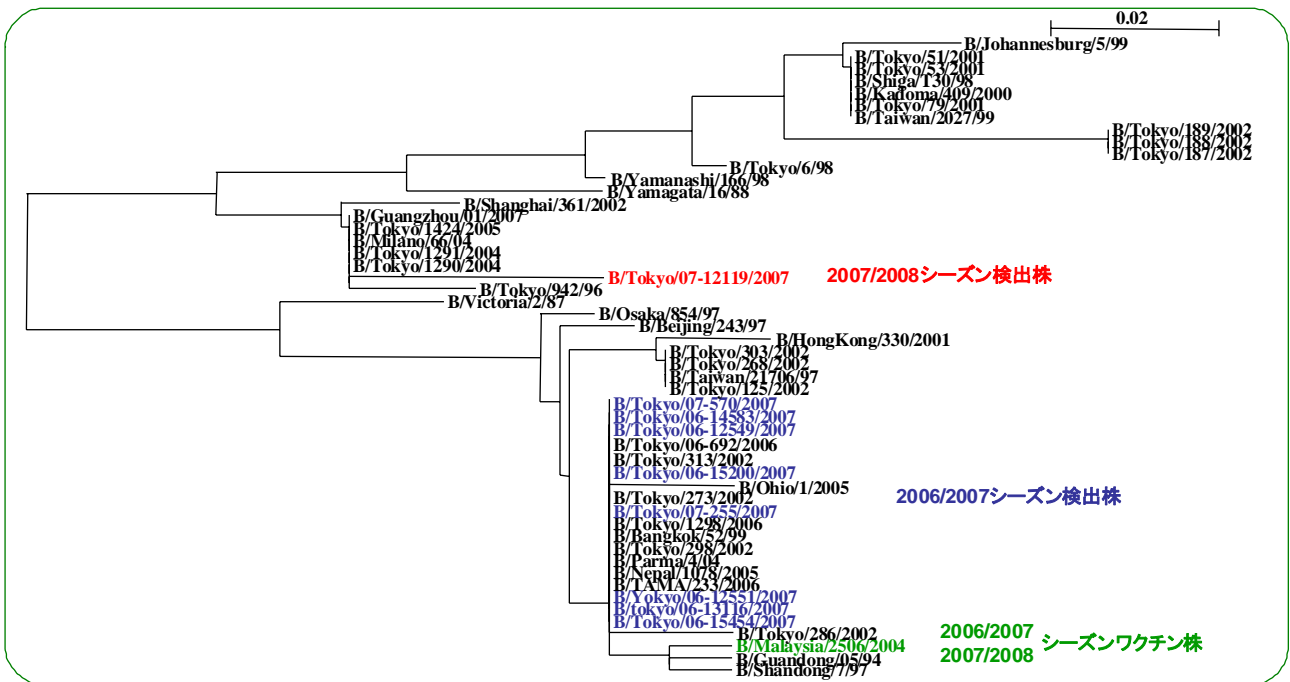


図3. 東京都におけるB型インフルエンザウイルスのHA遺伝子系統樹

◆ 東京都インフルエンザ情報 ◆

編集・発行
東京都健康安全研究センター
微生物部疫学情報室
〒169-0073
東京都新宿区百人町3-24-1
TEL: 03-3363-3213
FAX: 03-5332-7365
S0000786@section.metro.tokyo.jp
http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/